

施策 252 東紀州地域の活性化

【主担当部局：地域連携部南部地域活性化局】

県民の皆さんとめざす姿

東紀州地域は多様で豊かな自然や歴史風土の中で、豊かでゆとりある暮らしが実現できる地域です。地域の人びとだけでなく都市部の人びとにとっても魅力的な地域をめざし、地域のさまざまな主体が連携し、地域の自然や歴史とともに生きる暮らしを大切にしながら、地域経済が活性化され、地域社会が健全に維持されています。

平成31年度末での到達目標

これまでの熊野古道を核とする地域の資源や魅力を生かした観光振興、産業振興、まちづくりの取組を一層進めることにより、個性豊かな地域づくりが行われ、地域の人びとが誇りを持った魅力的な地域となることで、集客交流人口が増加するとともに、地域製品の販路拡大など産業振興が図られています。

県民指標						
目標項目	27年度	28年度		29年度	30年度	31年度
	現状値	目標値 実績値	目標達成 状況	目標値 実績値	目標値 実績値	目標値 実績値
東紀州地域における観光消費額の伸び率	105	105		106		107
目標項目の説明	観光旅行者が東紀州地域において支出した観光消費額の平成26(2014)年を100とした場合の伸び率（雇用経済部観光局観光政策課調べ）					
29年度目標値の考え方	「三重県観光振興基本計画（平成28年度～31年度）」をふまえ、東紀州地域における観光消費額も段階的に増加させ、平成31年におおむね同様の伸び率を確保することをめざして設定しました。					

活動指標							
基本事業	目標項目	27年度	28年度		29年度	30年度	31年度
		現状値	目標値 実績値	目標達成 状況	目標値 実績値	目標値 実績値	目標値 実績値
25201 地域の自立に向けた環境整備（地域連携部南部地域活性化局）	地域づくりに取り組む語り部人数		88人		92人		100人
		85人					
25202 地域資源を生かした集客交流（地域連携部南部地域活性化局）	熊野古道の来訪者数		435千人		438千人		450千人
		352千人					

活動指標		27年度	28年度		29年度	30年度	31年度
基本事業	目標項目	現状値	目標値 実績値	目標達成 状況	目標値 実績値	目標値 実績値	目標値 実績値
		25203 地域資源を生かした産業振興（地域連携部南部地域活性化局）	商談会等における成約件数	21 件	22 件		24 件

現状と課題

- ①東紀州地域は、地理的条件もあり地域経済が低迷しており、就労の場が少ないことから、若年層が流出し、過疎・高齢化が進行するなど地域の活力が低下しています。このままでは、東紀州地域における過疎・高齢化がますます進行し、地域社会そのものが維持できなくなることも危惧される状況にあります。
- ②熊野古道の世界遺産登録を契機に、熊野古道センターや紀南中核的交流施設を整備し、集客交流機能の向上に取り組んだことにより、着実に交流人口の増加、地域の賑わいにつながってきています。なお、いずれの施設も整備から10年近く経過し、今後も地域において持続的にその役割を果たしていくためには、長期的な視点に立った施設の維持・管理や今後の事業運営などについて、検討、対応していく必要があります。
- ③伊勢志摩サミットを契機として、東紀州地域の5市町を中心に、多様な主体が連携した新たな観光振興、産業振興の取組が始まっています。こうした取組が地域の活性化につながるよう支援する必要があります。
- ④こうした成果や機運を生かし、平成31年の熊野古道世界遺産登録15周年を見据え、引き続き、熊野古道を核とした集客交流の取組など、地域のさまざまな主体と連携して東紀州地域の振興を図っていく必要があります。

平成29年度の取組方向

- ①地域のコーディネーターとして地域振興の取組を総合的に推進する役割を担う東紀州地域振興公社を最大限活用し、地域と一体となって、観光振興、産業振興、まちづくりを推進します。
- ②熊野古道センターでは、地域との連携を図りながら集客交流を進めるため、熊野古道をはじめとする地域資源の魅力の発信、企画展や交流イベントの開催等に取り組むとともに、施設の長寿命化に向けた取組を進めます。また、紀南中核的交流施設では、魅力的な宿泊プラン等の設定、地域資源を活用した体験プログラムの実施、地域と連携したイベントの開催等に取り組むとともに、今後の事業運営について現在の運営事業者と調整を図りつつ、検討を行います。
- ③熊野古道世界遺産登録15周年を見据え、熊野古道の価値を次世代に伝える取組、おもてなしの向上など地域が主体となった受入体制の充実、伊勢から熊野までを結ぶ環境づくり、国内外からの誘客に向けた情報発信等を一層進めます。
- ④東紀州地域の多様な主体が連携して取り組む商品開発、販路開拓、産業人材育成等、産業振興の取組を引き続き支援するとともに、新たに、東紀州地域の5市町が中心となった海外からの誘客促進、海外への販路開拓等の取組を支援します。

主な事業

- ①東紀州地域振興推進事業【基本事業名：25201 地域の自立に向けた環境整備】
予算額：(28) 10,494千円 → (29) 5,757千円
事業概要：東紀州地域振興公社において、熊野古道伊勢路を中心とした集客交流を図るとともに、物産展等を通じた販路開拓などの取組により、地域の活性化につなげます。
- ②熊野古道センター運営事業【基本事業名：25202 地域資源を生かした集客交流】
予算額：(28) 68,469千円 → (29) 106,893千円
事業概要：熊野古道を核とする魅力ある企画展や地域と連携した交流イベント、情報発信等を実施するとともに、施設の長寿命化に向けた計画策定、機器の改修等を行います。
- ③紀南中核的交流施設整備事業【基本事業名：25202 地域資源を生かした集客交流】
予算額：(28) 285,273千円 → (29) 286,845千円
事業概要：事業者の独立採算により運営を行うことを条件に整備等にかかる費用の一部を補助するとともに、これまでの取組を検証し、今後の事業運営に向けた検討を行います。
- ④熊野古道活用促進事業【基本事業名：25202 地域資源を生かした集客交流】
予算額：(28) — 千円 → (29) 29,885千円
事業概要：熊野古道の価値を次世代に伝える取組、伊勢から熊野を結ぶ環境づくり、情報発信等に取り組むことにより、国内外からの交流人口の拡大と地域経済の活性化を図ります。
- ⑤(新)世界遺産・地域資源を活用した東紀州観光地域づくり支援事業【基本事業名：25202 地域資源を生かした集客交流】
予算額：(28) — 千円 → (29) 2,854千円
事業概要：東紀州地域の市町等が連携して取り組む外国人誘客に向けた旅行商品の造成、地域特産品の海外への販路開拓、観光人材の育成等に対して支援を行います。
- ⑥東紀州地域産業活性化事業【基本事業名：25203 地域資源を生かした産業振興】
予算額：(28) — 千円 → (29) 6,384千円
事業概要：東紀州地域の多様な主体が連携して取り組む新商品開発、販路開拓(バイヤーの招へい、商品データベースの活用)、地域の産業人材の育成等に対して支援を行います。